

農林水産省の「ディスカバー農山漁村の宝」を 株式会社ゆめの樹野上野が受賞

農林業などで、地域の活性化に励む優良な団体や個人に贈られる賞「ディスカバー農山漁村の宝」を、丹波ブランドを活用した交流に取り組む株式会社ゆめの樹野上野が受賞し、12月16日に近畿農政局から賞状が授与されました。

同社社長で野上野自治会長の尾松賢作さんは「交流人口の増加を目的に、これからも丹波ブランドを活用したまちづくりに励みたい」と話しました。



ゆめの樹野上野のみなさん

檜皮葺を含む「伝統建築工匠の技」が ユネスコの無形文化遺産に登録

12月17日、山南町上久下地区で盛んな「檜皮葺」を含む日本の伝統建築工匠の技がユネスコの無形文化遺産に登録されることが決定し、地元関係者が市長に喜びを報告しました。

上久下地域自治協議会会長の野垣克己さんは「コツコツと頑張ってきた職人の技が世界に認められて嬉しい。今後は檜皮葺のガイドブックなどを作成し、その良さを多くの人に広めたい」と話しました。



神社の屋根を補修する檜皮葺の職人たち

災害に強い森を目指す！ 第3回北岡本植樹祭を実施



モミジの苗木を植樹する参加者

12月13日、市島地域の北岡本自治会が、丹波市豪雨災害によって被害を受けた森林を地域が主体となって整備し、災害に強い森林づくりを進めるために植樹祭を実施しました。地域住民らの参加のもと、地区内の「岩山」にモミジなどの苗木400本を植樹しました。

参加者は「大きく育てて災害から森林や地域を守ってほしい」と願いを込めました。

ポリエチレン製のしめ縄に掛け替え 大原神社で迎春準備



大原神社拝殿のしめ縄を掛け替える氏子ら

12月27日、市島町徳尾の大原神社で初めて黄色のポリエチレン製のしめ縄が飾られました。例年氏子らが集い、稲わらを使ったしめ縄を作っていましたが、今年は「密」を避けるため、ポリエチレン製のしめ縄に掛け替えられました。

神社総代は「しめ縄作りの技術継承が難しくなったため、コロナ禍を機にポリエチレン製にした。コロナの一日でも早い収束を願う」と話しました。

